

お知らせ

○臨時活動日；8月31日（日）9時30分第2駐車場集合、植生調査、食害調査、9月15日活動の準備（ツノトギ対策用保護ネット設置方法検討、資材確認、割竹作成など）。小雨決行、雨具持参。竹用鋸&鉋持参ください。

○定例活動日；9月15日（月・祝日）、里山活動体験「ニホンジカとの共生を目指す森づくり」を3頁の要領で計画し参加者を募集します。9時30分第2駐車場集合、会員も一般参加者を誘導しながらこの活動に参加します。主な内容はニホンジカ生息調査、ニホンジカと植生について講義、植生保護柵設置と樹皮保護ネット設置、食害調査など。小雨決行、雨具持参、森の踏査に相応しい安全な服装・帽子・履物でご参加下さい。事前にシカ調査班編成など行いますので、当日の参加予定者は上記事務局アドレス宛てメール又は電話ください。

活動の記録

7月21日（月、祝日）晴 参加20名、新井（孝）石井、伊藤、鶴沢、大賀先生、甲斐、久我（哲）小又、坂本、高塚、高橋（忠）西田、長谷川、福島、真鍋、村野、山脇、森、元会員の東館さん、広瀬さん

梅雨明けの蒸し暑い一日であったが、豊英島に入るとひんやりとしてなんとも心地よい。森の快適さに誘われたのか久しぶりに20人の参加があって森は賑わった。午前中は、7ルートに分かれてシカの一斉生息調査。シカの姿を見ることはできなかったが、相変わらず食害はひどい。午後は、シカ食害の詳細な植生調査、クロムヨウランの保護、ホテイチクの保護柵設置位置検討の3グループに分かれて活動した。帰路島対岸のヒノキ林の現地を確認して解散した。（伊藤記）



3年ぶりの元会員も迎え久し振り20人の賑わい

○シカ個体数調査 豊英島に渡る橋の手前で集合し、調査の説明を行った後一斉に島に入り、7ルートに分かれて島内を踏査して個体数調査を行った。調査時間は10:05から約30分、残念ながらシカの目撃、声、足音の確認無し。痕跡としては、シカ道、食痕が多数、フンは巨木林区域から北岸、西側の尾根沿いで多く発見。番外として、ノウサギ1頭（羽）が目撃された。（福島記）

○クロムヨウランの調査と保護 スダジイ林のクロムヨウランはつぼみを出し開花待ちの状態。群生地を再度調査の結果、群生エリアは低地から斜面まで広がり前回確認した以上に広い。また個体数も多く昨年の開花株、新株含めると50株を超える大群落。これだけの大群生を何故昨年まで発見できなかったのか、スダジイ林が通常の活動域外のため見落としなのか、今年が特に個体数が多いため発見できたのか、真相はわからない。株は落ち葉と同じ色のため目立ちにくく足で踏みつけやすい。前回保護した3か所のほかに、斜面上部の大株5個体を亀甲金網で保護した。またこの日千年広場南にもクロムヨウランの群生数株が発見された。（真鍋記）



金網保護にも慣れて

開花は7月下旬～8月上旬の見込み。開花期に観察撮影のため臨時活動を予定。




○食害調査

3箇所の調査区で3回目の食害調査を行った。No.1では、オオバウマノスズクサ、イヌツゲ、モミジイチゴなど12種に、No.2ではイヌガヤ、イヌツゲ、など5種に、No.3では、ムラサキシキブ、イヌザンショウ、ツクバナウツギなど14種に食痕が認められた。調査区以外では、No.3周辺のコナラ更新林に食痕が多く認められ、種別では、アオキに摂食により枯損したとみられる個体が多く、ヤブムラサキ、イヌガヤなどでは、摂食にともない枝が折られたと思われる個体が目立った。（福島記）

○ホテイ竹林保護柵設置箇所の検討

マダケと並んでホテイチクにも食害が散見されるため、ホテイチク林にも保護柵を設けることとし、五角形で縦延長90mを決定し、目印をつけた。実際の保護柵設置は、9月15日の里山活動体験事業（一般参加）で行う予定である。（伊藤記）

豊英島ニュース

今年もトビ1羽巣立ちます	コクランが開花しました	ツチアケビの実がたわわに
 <p>今年もヒナ1羽遅しく成長中です。間もなく巣立ちか？</p>	 <p>豊英島でコクランの開花を初めて観察し撮影できました。</p>	 <p>今年は見事に4株が成長開花し、ソーセイジ状の実を沢山つけました。</p>
トビのヒナ 7月21日	コクラン 7月12日	ツチアケビ 7月21日

3年ぶり豊英島の活動に参加して



7月22日 東館みどり

昨日はお世話になりました。3年ぶりだったにもかかわらず、温かく迎えてくださりとてもうれしかったです。ありがとうございました。さて、素人的観点で申し訳ありませんが、昨日の感想を簡単に書かせていただきます。

まず 森の整備が進み、明るくなったと感じました。昔は自然の木々が残る森という印象でしたが、昨日は調査林というイメージに変わっていました。また、前よりもずっと細かな調査をされており、毎月の地道な活動の成果を感じました。そして、それぞれの方が得意な分野、好きな分野（植物・花の観察、写真等）を持ち、その技術を持ち寄って活動を楽しまれているようにみえました。次に クロムヨウランの群生地に足を踏み入れ、私自身足跡をいっぱい残してきたことが少し気になりました。散策路以外の場所を歩きまわるとは、貴重な植生に影響は無いのかなと感じました。

最後に クロムヨウランの群生地の近くの太い木の根元に蜂の巣？（数匹の蜂がとまっている木）がありました。黒くて大きな蜂でしたので、付近に目印をつける等、誤って近づかないように何か手を打っていただければと思います。お邪魔でなければ機会をみつけ参加させていただければと思います。本当にありがとうございました。

編集者注）高校生のときから「千年の森づくり」に参画された東館さんを豊英島はいつまでも何時でも歓迎です。